

事務事業評価シート

事業番号	20					
事業名	はたちのつどい開催費	局名	健康福祉局			
		部名	こども育成部			
事業開始年度	昭和28年度	課名	こども青少年課			
根拠法令等	無し	課長名	笠原恭子			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施					
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	<input type="checkbox"/> 補助金（補助先： ）					
	<input type="checkbox"/> その他（ ）					
事業概要	目的 (何のために)	「成人の日」を記念して、新成人を祝い、励ますとともに、大人になったことを自覚し、郷土「相模原」への関心を深める機会とする。				
	対象 (誰・何を対象に)	当該年度の新成人 平成23年度対象者数 約7,400人				
	事業内容 (手段・手法など)	会場については、政令指定都市移行に伴い、区の特性を活かした式典とするため区ごとに開催する。 式典については、各会場ともに共通した内容(「主催者及び来賓の祝辞」と「記念映画の上映」)を実施する。 また、新成人自らの参画を促すため、会場別に新成人による実行委員会を組織し、これら新成人の意見を踏まえ、企画・運営の検討を行なう。 ※平成23年度の会場は、①グリーンホール相模大野(南区会場)、②相模原市民会館(中央区会場)、③杜のホールはしもと(緑区会場)				
	事業の必要性	祝日法により、「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いほげます」趣旨のもと、「成人の日」が制定されており、全国的に、この日を中心に成人式が行われている。このように、市として青年を祝福・激励し、これに対して参加者が、責任ある自立した人間として、より良い社会の創造に貢献していくことを決意し、それを広く社会に啓発するためにも、はたちのつどい(成人式)については、継続する必要がある。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		5,192 千円	5,046 千円	9,200 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.86 人	0.86 人	0.86 人
			概算人件費	6,407 千円	6,407 千円	6,248 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	人	人	人
			概算人件費	千円	千円	千円
	人件費 合計		6,407 千円	3,427 千円	6,248 千円	
総事業費		11,599 千円	8,473 千円	15,448 千円		
市民一人あたりの事業費		0.02 千円	0.01 千円	0.02 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他()	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	5,192千円	5,046千円	9,200千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	案内状等印刷製本費(全市分)			363千円	
	記念映画製作委託			2,200千円	
	警備委託			1,680千円	
	会場使用料			2,740千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	実行委員会開催	回	39	41	40
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	297.4	206.7	386.2
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	広報紙による周知	回	5	5	5
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)	千円	2,319.8	1,694.6	3,089.6
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	新成人による実行委員会を支援しながら、新成人の視点にたった企画・運営を行い、相模原市の次代を担う新成人の式典参加により多くを得る。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	出席率	%	73.2	81.3	80
特記事項 (事業の沿革等)	<p>H22年度はこども青少年課(旧市+城山地区、グリーンホール相模大野会場)津久井保健福祉課・相模湖保健福祉課(津久井・相模湖地区、津久井中央公民館会場)藤野保健福祉課(藤野地区、藤野芸術の家会場)により実施。</p> <p>H23年度は、こども青少年課(グリーンホール相模大野会場、相模原市民会館会場、杜のホールはしもと会場の3会場)により実施。</p>				
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	<p>記念映画は参加者に好評であり、実行委員会による看板制作、司会、開演前のアクションなど、手作りの成人式は新成人から親近感を持たれており、今後もより多くの参加者を得ることができる手法である。</p> <p>今年度から区ごとに開催することとなったことため、郷土さがみはらに加え、区への愛着をより一層醸成できるような事業とし、多くの参加者を得ていきたい。</p>				
評価	《評価の視点》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない 			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	<p>新成人が大人になったことを自覚し、また、自ら生きぬこうとする新成人を祝い、励ますため制定された成人の日に開催される本事業は、相模原で生まれ育った新成人が、郷土さがみはらへの関心や愛着をより深めるとともに、郷土愛を醸成することができるイベントである。</p> <p>今後は、新成人に区への関心や愛着をより深めてもらえる事業としたい。</p>			
H24年度 予算への反映	現状維持とする。				
経営評価委員会 による意見	○現状維持 事業所管理局の意見のとおり				